

第16号

編集・発行

日進桜楓霊苑案内所
株式会社 大興企画
〒470-0102
日進市藤島町寺下甲29
☎0561-72-5454

桜楓たより

迎春

宗教法人龍谷寺住職 成田隆真



新年おめでとうございます。

新しい年、心も新たにお過ごし
の事と思います。日進桜楓霊
苑も早いもので、開苑以来、今
年で15周年を迎えます。これま
で780余名の方々にご縁を頂
いています。私たちは日々、い
ろいろな出来事に出合います。
良いことも悪いことも起り、

その度に心を動か
され、喜怒哀楽の
中で生きていま
す。今を生きる私
たちですが、ふと
立ち止まって考え
ると、父母、祖父
母があつて、私た
ちの命が連なつて
います。
「お元氣ですか?」「お陰様
で」という挨拶を交わします
が、その「お陰様」とは、目に
見えない先祖のお陰という意味
でもあります。年末には多くの
方々がお墓にお参りをされまし
た。供えた花の香りが辺り一面
に漂うほどで、その光景は大変
美しいものです。目に見えない
ものの大切さに気づき、今を生
きる感謝の気持ちをもちたいも
のです。
今年度は、第三ブロックを整
備いたしました。また、東側駐
車場のアスファルト舗装を行
い、お参りの皆様が少しでも心
地よくお参りできるようにする
予定です。
日進桜楓霊苑が皆様の心の故
郷になるよう、今後も整備を続
けていきます。新しい年が皆様
方にとって、よい年となるよ
う、お祈り申し上げます。

新年を迎えて

株式会社大興企画
代表取締役 平岡 寛

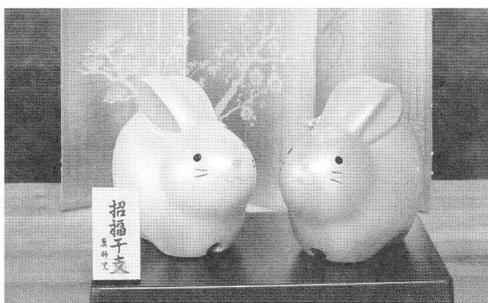


新年、明けましておめでとう
ございます。日ごろは日進桜楓
霊苑をご利用賜り、誠にありが
とうございます。日進桜楓霊苑
は皆様のお陰で今年で15年目を
迎えることが出来ました。本当
に感謝を申し上げます。本当
に感謝を申し上げます。

新年、明けましておめでとう
ございます。日ごろは日進桜楓
霊苑をご利用賜り、誠にありが
とうございます。日進桜楓霊苑
は皆様のお陰で今年で15年目を
迎えることが出来ました。本当
に感謝を申し上げます。本当
に感謝を申し上げます。

新しい年、心も新たにお過ごし
の事と思います。日進桜楓霊
苑も早いもので、開苑以来、今
年で15周年を迎えます。これま
で780余名の方々にご縁を頂
いています。私たちは日々、い
ろいろな出来事に出合います。
良いことも悪いことも起り、

今年度は、第三ブロックを整
備いたしました。また、東側駐
車場のアスファルト舗装を行
い、お参りの皆様が少しでも心
地よくお参りできるようにする
予定です。
日進桜楓霊苑が皆様の心の故
郷になるよう、今後も整備を続
けていきます。新しい年が皆様
方にとって、よい年となるよ
う、お祈り申し上げます。



招福千支

手造り・オリジナル仏壇専門店

さん ぜん どう

三千堂

伝えていきましょう
手と合わす感謝の心

米野木信号角

☎0561-74-5101

日進市米野木町東田面123-1
営業時間/午前9時~午後7時
定休日/毎週火曜日

平成23年度
龍谷寺

大般若会へのお誘い

新年のお寺参りである「龍谷寺大般若会」が来年1月10日に行われます。「大般若祈祷会(だいはんにゃきとうえ)」とは、「大般若経」全600巻を転読し、社会の平和・国土の安全、有縁の皆様の内安全を祈る法要です。大般若経の守護神である十六善神の法力に守られ、あらゆる良い因縁を引き付け、悪い因縁をはねのけるお参りです。

年が変わり、気分を二新して新年を迎えたいものです。また、新しい年が有縁の皆様にとって、良い年になるヒントになる事と思います。大般若祈祷会では、無病息災を祈って大根炊きを振る舞います。皆様のご参加をお待ちしています。



大般若会

龍谷寺では、皆様方からの法事を受け付けています。新年には本堂にその年の年忌に当たる仏様の戒名を張り出しています。年忌に当たられる各家の方は、できるだけ新年三が日に寺を参り、法事の受付を済ませていただきたいと思えます。皆様のご希望では、土日曜が多く、申し込みが殺到します。新年早めにその年の年忌の申し込みをお願いいたします。

法事のお申し込みについて

各家からの祈祷も受け付けています。特に後記の事について、ご祈祷を希望の方は、お申し出ください。当日受付可。
家内安全、商売繁盛、交通安全、身体健全、合格祈願、心願成就
一席5千円



お正月の龍谷寺

新春講演会

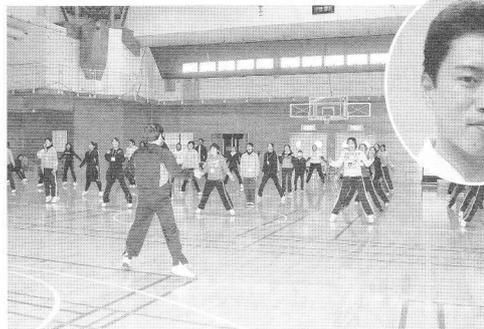
日時 平成23年1月10日・午前11時
(大般若祈祷終了後)
場所 龍谷寺本堂

演題

「明日も笑顔で！ 仲間と笑いが認知症を予防する」運動で高まるヒトの高次脳機能」

講師

筑波大学大学院 人間総合科学研究所運動生化学研究室 柳澤弘樹先生



講演会の体操風景

「涅槃会」展観

2月1日〜15日

「涅槃会」とは、お釈迦様の入滅(亡くなられた)された2月15日のことです。龍谷寺では、江戸時代に描かれた涅槃図(ねはんず)を掲げてお参りをします。

お釈迦様の伝道は、北インドのガンジス河を中心に45年間の永きにわたりました。80歳となられたお釈迦様は阿難(アナンダ)と数名の弟子を伴って、王舎城(ラージャグリハ)からクシナガラへと伝道の旅をされます。自らの入滅を予感され、生まれ故郷のカピラ城への向かわれたようです。お釈迦様は王舎城の霊鷲山を出発されて、来た道を取り、ナランダを経てガンジス河を渡ります。この時お釈迦様による激痛が起こったようであり、自らの死期を予告されます。お釈迦様は身を横たえられたまま、集まった人々を前に最後の説法をされます。

自分が入滅の後は、戒本を師として、

よく戒めを守り、五欲を慎み、静寂を求めて努力をし、定を修して悟りの智慧を得るべきことを示されるのです。智慧の光明によって、無明の闇を除くべきことを教え、これが最後の教えであると結ばれています。

「涅槃」とは、単なる「死」ということではありません。涅槃とは、サンスクリット語の「ニルバーナ」を音訳したもので、「火の消えた状態」を意味します。つまり煩惱や業や苦しみから解放される道、生きることの本来の意味を明らかに示しています。

釈尊がこの世に出現されたお陰で、私たちは救いの道・仏道を歩むことができます。涅槃会は、そのような遺徳に永遠の感謝を捧げることを自らに誓うのです。

龍谷寺の涅槃図は、江戸時代に京富小路の中川源七という人が描いたもので、当時の藤枝村、三本木、野方、岩崎などに住む方々の寄付により、龍谷寺に寄進されました。

涅槃図には、真っ白な花をつけたサーラ樹の下で、お釈迦様は頭を北に顔を西に向け、右手を枕にして横臥し、周囲には十大弟子をはじめ、老若男女、鳥獣たちも嘆き哀しみ、百獣の王である獅子さえも仰向けになって、慟哭している様子が描かれています。

画面右上には、とつり天から駆けつけたお釈迦様の母君、マヤ夫人が描かれています。2月1日から15日まで展観しますので、この機会に龍谷寺にご参拝されることをご案内します。



龍谷寺蔵

心に残る言葉

心に仏を想う時
その心 仏なり
口に仏を唱える時
その口 これ仏なり
静かに仏を拝む時
その身 そのまま
仏なり



日進桜楓霊苑

名古屋市東部、日進市の中心に「日進桜楓(おふう)霊苑」があります。小高い緑の丘陵に建つ霊苑は、春は桜、秋には楓が舞うところから「日進桜楓霊苑」と名づけられました。

お寺となる龍谷寺は、開創500年を迎えるという曹洞宗の名刹。開基は、藤原則武と伝えられ、その後三州篠原永沢寺3世月宗光大和尚が三州の城

主・渡辺守綱の助力を得て、伽藍を整備し、当代の住職、成田隆真で38世となります。

当寺の36世は、曹洞宗管長と横浜市鶴見にある曹洞宗大本山総持寺の貫主を務めました。

すでに約800基のお墓が建立され、南面一列タイプの新区画「第三ブロック」が2月発売開始予定です。ぜひ一度、お出かけください。

寿陵について

生前にお墓を建立することを「寿陵」といいます。寿陵にはさまざまな良い点があります。当霊苑では、生前建立の方が増えています。

■縁起が良い

寿陵とは古代の中国から伝わった風習で、「寿」は長寿、長命を意味するめでたい言葉であり、「陵」は皇帝のお墓を意味します。寿陵とは、長寿を願う縁起のよいお墓なのです。

■節税対策

生前にお墓を購入した場合、お墓の購入額分が相続税の課税対象にならないため、相続税が節約できます。残されたご家族のご負担を考えられる面からも、生前のご建立をお勧めします。

■自分好みのお墓を

建立できる

石の種類やデザインなど、ご自分に合ったお墓を選ぶことができます。また、デザインにこだわったオリジナル墓石の建立も可能です。

■霊苑ご利用者へのお願い

住所の変更・名義人の変更などがあった場合、届出書が必要になります。詳しくは現地案内所まで、お問い合わせ下さい。

洋風タイプのお墓



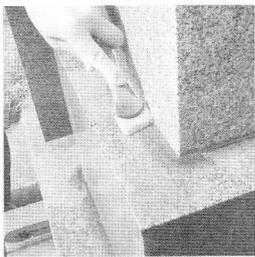
価格はデザインや墓石の色で異なります。

— お墓洗いセットを販売 —

日進桜楓霊園では、「お墓洗いセット」を販売します。このセットは、パーククロス、花筒洗い用バー、強力水アカ取りの3点。

お墓の花筒、花立のヌメリには花筒洗い用バー(発砲スチール製)の先にパーククロス巻きつけ、輪ゴムで止め、洗ってください。水鉢の汚れは、パーククロス、強力水アカ取りで、水アカは強力水アカ取りで落とします。

環境を汚さず、石を傷つけず、水だけでOK。簡単、便利なセットです。980円(税込み)。予約要。現地販売所で販売。



930,000円



2,020,000円

お う ふ う



日進桜楓霊苑

現地案内所
フリーダイヤル

〒470-0102 日進市藤島町寺下甲29番地
(受付時間:午前10:00~午後4:00/定休日:毎週水曜日)

0120-5454-31
☎ 0561-72-5454

14 旧玄関



この建物は昭和51年、山客整備として建設されました。正面入口は、破風(はぶ)になっており、「愛山敬實(あいざんけいひん・お客様を大切にする)」の気持ちを感じられます。1階天井は「蜘蛛(くも)の巣天井」、

2階の天井は「蛇(じゃ)の目天井」と「格(こう)天井」になっています。2階の部屋は夜になると東から月が昇り、正面を巡って西に沈むことから「観月(かんげつ)の間」と呼ばれています。現在は、寺で法事を行う方の茶所となっています。2階の窓からは日進市が一望でき、四季折々の美しい景色を眺めることができます。また、奥に進むと紫雲臺(しうんたい)の客殿があります。これは戒会(かいえ・寺の行事)の時に、禅師様がお入りになる客殿となっています。

龍谷寺年間予定

【平成22年】

12月31日(月) 除夜の鐘
打鐘 23時30分受付開始 甘酒のふるまいがあります。打鐘の方には幸運だるま進呈。合格祈願御守、絵馬もあります。

【平成23年】

1月1日(土) 元旦祈禱0時
1月10日(月) 祝 大般若祈禱会
国家安寧とすべての人々の幸せを願う大法要です。龍谷寺の大般若六百巻を転読します。筑波大学大学院柳澤弘樹先生による講演会を行います。皆様のご来寺をお待ちしています。

2月15日(火) 涅槃会
お釈迦様がお亡くなりになった日。2月の初めから龍谷寺の寺室「涅槃園」(江戸時代作)を本堂で開帳します。どうぞお参

りください。

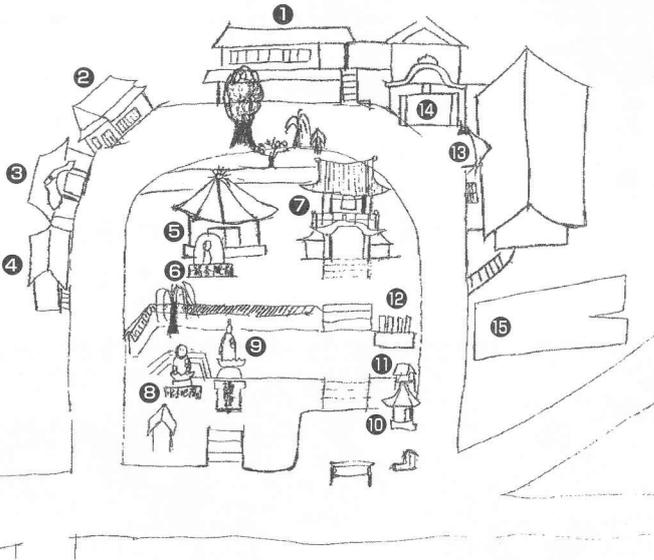
3月21日(月・祝) 春彼岸会
春の訪れとともに、先祖の方へ感謝の気持ちを届けましょう。皆様のご来寺をお待ちしています。

4月10日(日) 弘法様
藤島に古くから行われている弘法参りです。地域の方からお菓子をお供えし、お参りにきた子ども達にお菓子が振舞われます。ところてんの接待あり

4月16日(土) 第13回芳桜茶会
新緑のもと、一服のお茶をお楽しみいただきます。1月頃よりお茶券を準備いたします。同時開催 芳桜書道会、写経会、伝統文化子ども日本舞踊教室、ピアノ教室の発表

8月15日(月) 盆大施餓鬼会
9時から初盆供養、10時から盆大施餓鬼

龍谷寺境内案内



龍谷寺では、左記のように芳桜会の活動を行っています。日進桜楓霊苑にご縁を頂いた方も参加できます。

■芳桜会書道教室

日時 毎週土曜日 午前10時～12時、午後2時～5時
場所 龍谷寺本堂下客殿
講師 安藤霜秋先生
月謝 3千円
楷書、行書、かな等幅広く指導頂けます。書泉にて級段を受けることができます。

■芳桜会写経会

日時 毎月第3金曜日午後1時
場所 龍谷寺本堂下客殿
講師 安藤霜秋先生
志納料 千円
静かに心を込めて1字1字写経をすることで、心の平安を得ることが出来ます。ご都合のよい時にお出かけ下さい。毎回奉納帖に印を押します。

■梅花流詠歌教場

曹洞宗梅花流詠歌を月1回龍谷寺本堂新客殿にて稽古しています。詠歌の言葉1つひとつが心に染み入り、梅花流詠歌ならではの感動があります。皆様のご参加をお待ちしています。
日時 毎月1回午後1時
場所 龍谷寺新客殿
講師 梅花師範 富尾智恵尼
詳しい日程は龍谷寺へお問い合わせください。

■芳桜会茶道教室

茶室「心月庵」で稽古をしています。茶道は自然を感じ、書、花、陶器等に通じる総合芸術です。日本の文化の素晴らしさを感じながら一緒に稽古しましょう。
日時 毎週土曜日午後1時～5時
場所 茶室 心月庵
講師 表千家恒川裕子先生
参加費 1回2千円

株式会社 そらび社
CEREMONY

互助会会員の方も安心してご相談下さい

☎0120-7712-49

日進市浅田町下深田44-24
☎0561-72-1169
事業部 ☎052-802-7712
長久手店 ☎0561-62-8287

ライフサポート会員制度
Familiar Club 会員
ファミリアクラブ 募集中

入会金・年会費
月々の掛け金
無料!!